

○一関市総合計画後期基本計画（案）に対するご意見の概要及びご意見に対する考え方

意見数：16件（7人）

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	道路	市の誘致企業が撤退し、奥州市、金ヶ崎町、北上市へ集積が進んでいる自動車産業、半導体産業に一関市から通勤している方が多くなってきていると感じる。 幹線道路（一関北上線14号、国道456号）に通勤時間に使える公衆トイレがないので沿線自治体と協力してトイレ付休憩所を設置して欲しい。 併せて、一関在住で市外に通勤する通勤環境整備にも予算を組んでもらいたい。（国道343号の大東町と陸前高田市の間）	広域での幹線道路網整備は非常に重要であると考えています。トイレ付休憩所の設置につきましては、ご意見として捉え、今後、一関市が会員となっている花巻・一関間主要地方道改良促進協議会、国道456号整備促進期成会において情報共有をまいります。 また、道路整備につきましては、市内各地より多くの道路整備要望をいただいております。交通量や周辺の利用状況を踏まえ、必要な国道や県道の改良整備については、管理者である国や県に対して要望活動を行っており、今後も継続して要望を行ってまいります。
2	道路	本庁から遠い山間部の過疎地域は自然環境が厳しく、道路改善がなかなか進まないため、どの地域からも一関中心部に30分程でいけるような道路を整備して、30分程でいける人口割合を増やして欲しい。（一関市内と大東地域 県道一関大東線19号）	道路整備につきましては、市内各地域より多くの道路整備要望をいただいております。交通量や周辺の利用状況を踏まえ、必要な国道や県道の改良、整備については、管理者である国や県に対して要望活動を行っており、今後も継続して要望を行ってまいります。
3	一ノ関駅周辺の整備	駐車場の利便性の向上を図ると明記されているので、市営駐車場精算機を電子マネーやクレジットカードに対応したものに、コロナ対策（現金の受け渡しによる感染防止）として進めて欲しい。	市営西口北駐車場の精算機については、令和2年度に電子マネー等に対応したものに変更する予定としております。 また、それ以外の駐車場の精算機については、機器の更新時期に合わせて、順次電子マネー等に対応した精算機への更新を予定しております。
4	情報通信基盤の整備と活用	携帯電話の不感地帯の解消となるよう事業者に働きかける点について、国道343号の東山、大東地区の全線通話エリア拡大をして欲しい。	携帯電話の不感地帯の解消については、携帯電話会社に働きかけをしております。なお、居住エリアにおける解消を優先して働きかけてまいります。
5	情報通信基盤の整備と活用	ラジオ難聴対策部分の観点が総合計画から抜けているので、FM岩手の旧東磐井地区の難聴対策もお願いします。	放送事業者が活用できる国の補助制度があることから、市民の声を伝え、難聴対策の実施を放送事業者に働きかけてまいります。
6	図書館機能の充実	図書館資料の配架や環境整備に関して、コロナ対策として電子書籍図書館、各市民センターに本返却ポスト設置、スマホ図書館カード貸出アプリ導入などはどうか。	電子書籍及びスマホ図書館カードの導入については、調査研究を重ね、検討をしております。 市民センターへの返却ポスト設置については、各図書館での返却処理を行うまでのタイムラグなど、現時点では課題が多いと捉えております。
7	文化芸術活動の振興	伝統的に学者や文化人を輩出してきた一関を活性化するため、市街地に充実した文化施設を作ることをご提案します。都市の文化的尺度として博物館、美術館、文化ホールの有無が問われます。 岩手県で2番目の美術館が一関に建設されることを期待します。 一関市街地の活性化に繋がる場所として、文化センターと隣接する場所か、一ノ関駅東口の旧NECの跡地が候補として考えられます。	美術館の建設については、従来より要望をいただいておりますが、現時点では、財政面など課題が多いものと捉えております。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
8	文化芸術活動の振興	9月に開催した美術展は、2月に開催した春の美術展と同数程の入場者となり、コロナの中でも市民の美術、文化に寄せる関心の高さを実感した。そのことから、一関市に無い「美術館の設置」の文字を計画の中のインパクトとして載せていただきたい。市の財政の問題もあり、設置時期の明示は難しいと思いますが、総合計画に組み入れ続けることにより実現に向けた展望が開けると考えます。生涯学習の中の美術館として建設（設置）に向け要望します。	生涯学習の観点からも文化芸術鑑賞は重要な役割を担うものと考えております。しかしながら、美術館の建設につきましては、財政面など現時点では課題が多いと捉えております。
9	文化芸術活動の振興	一関は音楽のまちとして近県に知れ渡っており、スポーツも盛んで運動公園、ユードームなど競技場も整っております。また市民センターは生涯学習の場として誰もが利用できます。人口が増え、企業が増え、若者が定着するまちにするためにも、コロナが収束した後、今一度、美術館建設を議論し、岩手の南玄関である一関に「美術館」を願っております。建設費用諸々を考えたとき、難しい問題が多いと思いますが、声を挙げないと前進しないので、望みをかけたい。	美術館の建設については、従来より要望をいただいておりますが、現時点では、財政面など課題が多いものと捉えております。
10	文化芸術活動の振興	いわい美術振興協会において、年3回美術展を開催し、今年9月にも美術展を開催しました。コロナの厳しい対策の中、例年どおり多くの方々に観賞いただき、予想外の驚きでした。改めて、文化芸術、絵画の力を実感しました。いつの日か、市民の皆さんが新しい美術館で絵画鑑賞を楽しめる日が来ることを期待しております。	いわい美術振興協会におかれましては、定期的に美術展を開催され、市民に文化芸術の鑑賞機会をいただき、感謝する次第であります。しかしながら、美術館の建設につきましては、現時点では、財政面など課題が多いものと捉えております。
11	文化芸術活動の振興	1900年に開催されたパリ万博の彫刻部門で金賞牌を受賞した一関市出身の長沼守敬氏の作品が1点もないことが残念である。	長沼作品は現存数が少なく、市場流通も確認されていないため、作品の入手可能性は極めて低いのが現状です。そこで、一関市博物館では、岩手県立美術館や萬鉄五郎記念美術館の協力を得て複製作品や関連資料を借用し、常設展示を行っております。また、令和元年度に長沼守敬作品の石膏原型を収集しましたので、今後、専門家による調査や適切な保存処理を施した後に公開したいと考えております。
12	文化芸術活動の振興	中央美術展で活躍した一関周辺の画家たちの作品が拡散してよく見られない。	一関市博物館では、一関市及びその周辺にゆかりのある美術家について調査研究を進め、作品を収集しており、その成果を企画展等に反映させているところです。今後もこうした展示を行い、鑑賞する機会を提供してまいりたいと考えております。
13	文化芸術活動の振興	栗原市、登米市、一関市の三市で活躍した画家は多数おり、三市合同の美術館を作り、広めることが大切である。	広域での美術館の設置については、ご意見として捉え、今後、栗登一平において情報共有をしております。
14	文化芸術活動の振興	芸術分野（音楽、美術、書道）の教員を適切に配置していただきたい。	小中学校の教職員数は県の規定により定められた人数が各学校に配置されております。小規模校では教科によって定数内で配置できない場合がありますが、配置されなかった教科の教員を特別に配置するなど、県教育委員会に働きかけてまいります。
15	義務教育・高等教育等	学校の部活動等が安全に自由に伸び伸びとできるように、財政的支援をしていただきたい。	特に運動部活動等については、指導者が事故防止のための知識や意識を高めるとともに、設備面での安全など、安全管理の徹底を多面的に行う必要があります。そのために、研修や設備の適切な補修・更新などについて、効果的な予算措置を行ってまいります。
16	義務教育・高等教育等	少子化で今までの地域の学校は統廃合が行われ、学校や学級減で様変わりしますので、生徒には支障がないように万全を期していただきたい。	学校の統合に伴う人間関係や環境の変化に対して、子どもたちに適切な支援を行うことが大切であると考えております。統合前に学校間で交流を行うことや、統合前後に既定の人数以上の教員を配置することを県教育委員会に希望してまいります。